



3市の取組



三鷹市

Mitaka City

【ラグビーの取組】

三鷹市では、市のスポーツイベントをはじめ、様々な機会
でラグビーを盛り上げる事業に取り組んできました。

【過去に実施した事業】

- ・小学校や地域子どもクラブでのタグラグビー出前教室
- ・タグラグビー交流大会
- ・各種イベントにおけるラグビー体験等（Mマルシェ
みたか商工まつり、わんぱくスポーツフェスティバル、
みたかスポーツフェスティバル）
- ・ラグビーワールドカップ2019における、日本戦の
パブリックビューイング（VS ロシア、アイルランド）
- ・ラグビーワールドカップ2019での、ホストシティパフォーマンス
（出演：井の頭鼓響及び三鷹阿波踊り振興会）
- ・J R三鷹駅でのラグビーワールドカップ2019マスコットモニュメントの展示



【小学生タグラグビー大会の開催】

調布市では、青少年の健全育成推進・ラグビー競技の
地域社会での普及を目的として、調布市小学生タグ
ラグビー大会を開催しています。
大会には、市内から40チーム以上の参加があり、大
きな盛り上がりを見せています。





5者協定



東芝ブレイブルーパス、サントリーサンゴリアス 及び府中市、調布市、三鷹市との連携協定の締結

府中市、調布市、三鷹市は、ラグビーワールドカップ2019日本大会の開催をきっかけにラグビーを通じたスポーツ振興や、地域経済の活性化、青少年の健全育成等、様々な分野において積極的な取組を行って来ました。その取組を遺産(レガシー)として後世に遺すだけでなく、これまでの活動を通して築いた関係性をより一層強固なものとしラグビーを通じた更なる発展につなげることを目的に、5者による連携協定を締結しました。



2021年4月8日に東京スタジアムで行われた連携協定締結の様子

今後この協定をきっかけに、様々な分野におけるまちづくりの推進や、試合やイベントに係る広報活動、ホストスタジアムにおけるホストゲーム開催に係る支援、ファン層拡大に向けたサポート等、多様な取組について連携して推進していきます。



【これまでの3市による取組】

- ・ラガマルくんのラグビー
ルールブックの作成
- ・3市トップリーグ観戦
バスツアーの実施
- ・府中調布三鷹ラグビー
フェスティバルの開催等





おわりに



最後まで読んでくださりありがとうございます。

セブンズという競技に、少しは興味を持っていただけましたでしょうか？

2019年、ラグビーワールドカップ日本大会が大成功したことで、日本ラグビーは新たなステージに移行しました。

2022年からは15人制の**新リーグ**も開設される予定で、まさに**ラグビー新時代**の幕開けです。

府中市・調布市・三鷹市は、この新リーグに参戦する「東芝ブレイブルーパス」「サントリーサンゴリアス」と一致団結して、これから更にラグビーを盛り上げていきたいと思っています。

その一環として、今回は「セブンズガイドブック」を製作しました。

オリンピックだけでなく、ワールドカップセブンズや、ワールドセブンズシリーズの観戦時にもご活用いただけますと幸いです。

スポーツのチカラで、このコロナ禍をみんなで乗り越えていけることを願っています。

ラガマルくんのラグビーセブンズガイドブック

令和3年（2021年）6月発行

発行：府中市・調布市・三鷹市 ※本事業は多摩島しょ広域連携活動助成金を活用しています。

著者：今江正城

イラスト：中村直人

協力：ラガマルくん（Twitter @ragamarukun）・公益財団法人 日本ラグビーフットボール協会

印刷：凸版印刷株式会社

本誌掲載の記事、写真、イラストの無断複写、複製、転写を禁じます。

掲載しているルール等は、2021年現在のものです。

2016

リオデジャネイロオリンピック (男子・女子)

4年に1度

7人制

7人制ラグビーが夏季オリンピックの正式競技に採用された最初の年。
出場国は男女ともに12チームで、それぞれ3日間に渡って勝敗を競う。
記念すべき第1回王者は、男子がフィジー。女子がオーストラリア。

2017

セブンスワールドシリーズ (男子・女子)

毎年開催

7人制

香港やドバイ・ケープタウンなど、世界を回る「サーキット方式」で、1999年より毎年開催されているワールドシリーズ。大会ごとに成績に応じたポイントが加算され、その合計ポイントでシリーズチャンピオンを決定する。

2018

ワールドカップセブンスアメリカ大会 (男子・女子)

4年に1度

7人制

1993年に創設された、7人制ラグビーのワールドカップ。2009年からは女子の部も開催され、男子24チーム・女子16チームで世界一を争う。セブンスがオリンピックに採用されるのに伴い、一時は大会終了が議論されたが、オリンピックとの隔年開催として継続が決定。

2019

ラグビーワールドカップ日本大会 (男子)

4年に1度

15人制

日本中が熱狂した15人制ラグビーのワールドカップ。男子日本代表は史上初の「ベスト8」に進出し、新たな歴史を刻んだ。日本ラグビーフットボール協会はワールドカップを再招致して優勝することを目標に掲げている。

2020

東京2020オリンピック (男子・女子)

4年に1度

7人制

新型コロナウイルスの影響で2021年に延期となった東京オリンピック。前回大会では男子日本代表が4位、女子日本代表が10位だった。本大会では男女ともに初のメダル獲得を目指す。試合日程は男子が2021年7月26～28日、女子が7月29～31日の予定。

2021

ラグビーワールドカップニュージーランド大会 (女子)

4年に1度

15人制

女子ラグビー(15人制)の世界一を決定するワールドカップ。男子ワールドカップの2年後となる2021年に開催予定だったが、新型コロナウイルスの影響で2022年に延期が決定。女子日本代表は「アジア予選枠」での出場を目指す。

2022

ワールドカップセブンス南アフリカ大会 (男子・女子)

4年に1度

7人制

優勝チームには、セブンス発祥の地「メルローズ(スコットランドの地名)」にちなんだメルローズカップというトロフィーが贈られる本大会。直近の2大会(2013・2018)では、男女ともにニュージーランド代表がメルローズカップを手に入れている。

2023

ラグビーワールドカップフランス大会 (男子)

4年に1度

15人制

男子15人制日本代表の更なる躍進が期待されている本大会。2020年12月にグループ分けの抽選が行われ、日本代表は強豪のアルゼンチン、そして前回準優勝のイングランドと対戦することが決まった。